

虫歯、歯周病、銀歯、義歯のお悩み相談

Q.韓国で神経治療を行い歯に詰め物（かぶせ物）を行いました。

その後友人から日本と韓国では治療に使う金属の種類が違うため口中で化学反応を起こすから韓国で治療した部分は日本でやり直したほうが良いとアドバイスを受けました。

対処方法を教えてください。

A. ご質問のメールありがとうございます。

日本歯科医師会が出版した冊子に『世界の歯科事情と安心ガイド』というものがあります。

それによりますと、韓国の歯科事情は国民皆保険、（外国人は自由診療）であり、日本の形態に近いものであると考えられます。

使用している金属の組成は不明ですが、一定の規格（日本なら JIS 規格など）に沿ったものであると推測されます。

化学反応についてですが、上下の咬合する部位に異種金属が使用された場合、咬合時に接触すると電池を形成するため、ガルバニー電流（ガルバニック電流）を生じ、違和感が出る場合があります。

もし咀嚼時に違和感を感じるようでしたらやり直してもよいと思いますが、問題ないようなら様子を見ていただいてよいと思います。

Q.右上7番の歯ですが、歯事態の痛みが少ないのですが、土台となってる骨の方が痛みがよくでます。

神経治療は、薬を詰めながらの治療です。考えられるのは何ですか？

酷いときになると腫れてる気がすることがあります。

アドバイス等あればお願いしたいです。

A. ご質問のメールありがとうございます。

歯の神経の治療（根管治療）には2種類あります。

(1) 抜髄：虫歯が歯の神経を侵したため『歯がずきずき痛い』状態となります。（注：歯の神経は存在しています）

具体的には、麻酔を行い歯に穴をあけて神経を除去します。

(2) 感染根管治療：歯の内部に汚れに細菌が感染して、歯根の先端の骨の中に病巣を作る場合。

（注：歯の神経は既に無く、歯根の先端に膿がたまっています）

歯の内部に詰まっている詰め物を除去して歯の内部を清掃するとともに、膿を出していきま

す。

この2種の治療方法はよく似ていますが、目的は全く違います。

今回のご質問ではどちらかは判別できませんが、(2)の可能性が高いようなので(2)について説明いたします。

歯の先端にできた膿の部位を『根尖病巣』と言います。膿が溜まっているため普段は慢性炎症（炎症はあるが症状はない状態）となっていますが、体調不良などで抵抗力がおちたり、何らかの刺激が加わると急性炎症（いわゆる腫れている状態）になります。腫れている部位は歯そのものではなく歯根の先端の部位、つまり骨の中にある根尖病巣であるため、骨が痛んだり、歯が浮いた感じがします。一方で、治療により根尖病巣に刺激（針のような道具で、膿を出すためつついたりします）を加えるため、治療期間中に急性炎症になり、腫れてくる場合もあります。このような場合は抗生物質や鎮痛剤を服用してもらい症状を抑えます。今回の症状は治療による刺激で生じたものではないかと推測します。

もし(1)のケースの場合は、すこし原因が異なります。歯の神経は骨の中を通り歯根の先端の穴から歯の内部に入ります。抜髄は穴の部分で神経を切断するため、神経やその周りにある骨に傷ができます。この場合、麻酔が切れたあと『咬むと痛い』『歯の根元に痛みがある』といった症状が出ますが、いわゆる『傷の痛みなので』数日から1週間でほぼ軽快します。

痛みがある場合は必要に応じて、鎮痛剤や抗生剤を処方してもらってください。

Q.2 ヶ月ほど前に冷たいものがしみるようになり、歯科に行くと知覚過敏と診断されました。

その時は特に治療はなく、シュミテクトで歯を磨きながら様子を見ましようということでした。現在もまだ冷たいものがしみますし、最近では温かいスープなどもしみるようになってきました。また、しばしばコメカミ辺りに痛いような、うずくような凝りのような症状もでるようになっていいます。知覚過敏でもこのようなコメカミに不快な症状があるのでしょうか。本当に知覚過敏なのか心配しています。

A. ご質問のメールありがとうございます。

知覚過敏でこめかみなどに不快症状がでる場合はあると思います。

まず知覚過敏の原因についてですが、一般的には下記の2種とされています。

- (1) 歯ブラシのやりすぎが原因の場合：ブラシでゴシゴシ磨きすぎると、歯茎が退縮したり歯肉がめくれて歯根が露出するため知覚過敏が生じます。
- (2) ブラッシング不足が原因の場合：プラークが歯茎に付着したままだと、プラーク内の細菌が出す毒素のため知覚過敏が生じます。

しかし最近では (3) ブラキシズム（歯ぎしりや歯のくいしばりを総称したものです）が原因のケースも多いと思います。

くいしばりや歯ぎしりは、自覚していないことが多く、最高で体重に匹敵する力が歯に加わります。歯や骨は極めて硬い組織ですが、この力が内部に伝わるため歯の神経が亢進し知覚過敏を生じます。またブラキシズムの力が歯の周りに及んだ場合、『歯が浮いた感じがする』状態になりますし、顎骨に伝わると『顎が痛い』、周囲の筋肉に伝わった場合は筋肉に炎症が出るため（いわゆる筋肉痛）咀嚼筋やこめかみの筋肉に痛みが生じる場合があります。

御質問の文章を拝見する限りでは、(3) のケースが疑わしいと思います。この場合はブラキシズムの治療（鎮痛剤の服用、自己暗示療法、マウスピースの使用など）を行わないと知覚過敏は軽快しないと考えられますので、通院している歯科で質問してみてください。

Q.半年ぐらい前部分入れ歯を替えました。

半年ぐらい前部分入れ歯を替えました。それからのような気がするのですが、食べ物の味が変わりました。最近特にひどくなって、唾液のネバネバ感もあります。唾液を指で触ってみてもそんなことは無いように思います。感覚だけのようです。それから常時のどの奥にいがらっぽさがあり、咳き込むこともしばしばです。カラオケが好きで時々行くのですが、歌ってる途中にむせたようになって声が出せなくなることもあります。

今日近くの大きな病院の口腔外科に行き診察を受けました。唾液の出方など診たようですが、特に病名は告げられませんでした。舌が汚れているのでブラッシングとうがいをするように言われました。それと他の病気の可能性があるのではということで採血をしました。何か助言がありましたらよろしくお願いたします。

A. ご質問のメールありがとうございます。

内容を拝見した限りでは『口腔内乾燥症』を疑います。病院の先生も自己免疫疾患（膠原病）の検査を行うために採血しているのではないかと思います。

これらについては病院の担当医にお任せすることとして、私の方では義歯や現状の改善に対してのみお話させていただきます。

まず、義歯についてですが、義歯の清掃は十分でしょうか？舌や歯茎だけではなく義歯に歯垢が付着しているとネバネバ感が生じる場合があります。今回作るにあたって義歯のデザインに大きな変更はなかったでしょうか？大幅に義歯のサイズが変わったり、かみ合わせを高くすると今回のような症状が生じる場合があります。また金属アレルギー等の可能性もないわけではないです。しかしながらこれはすべて私の推測にすぎないので、病院の検査結果が問題ない場合に疑ってみてください。

現状の改善についてですが、一番容易な方法は『まめに水分を含むことです』。暑い時期なので熱中症を予防するためにも水分補給をまめに行ってみてください。自己免疫疾患の方の場合『人工唾液』を処方する場合がありますが、まずいので余程深刻な場合にしか処方しないことが多いです。